



個別指導塾フォルテ

×



算数

4年生

第8節

わり算の筆算(1)



1けたの数でわるわり算の筆算をマスターしよう!

【例題1】整数を10のまとまりと考える わり算のしかたを身につけよう！

80本のえんぴつを、4人で同じ数ずつ分けます。
1人分は何本になるか、求めましょう。

■とき方

80本のえんぴつを同じ数ずつ分けるときの一人分の本数を求める計算はわり算です。

式： $80 \div 4$

80を10の8こ分と考え、4人で同じ数ずつ分けるので、 $8 \div 4$ より、 $80 \div 4 = 20$ となります。

答え：20本



【例題2】整数のわり算の計算を筆算でするしかたを身につけよう！

花子さんはカードを72まい、妹は6まい持っています。花子さんのカードのまい数は、妹のまい数の何倍か、求めましょう。

■とき方

式： $72 \div 6$

計算は大きい位から、筆算ですることができます。

(別のとき方)

72を60と12に分けて考えると、
 $60 \div 6 = 10$ 、 $12 \div 6 = 2$ より、
 $10 + 2 = 12$ と求めることができます。

答え：12倍

①35このサッカーボールを、1人に3こずつ分けてプレゼントします。何人に分けることができ、サッカーボールは何こあまるでしょうか。

【式】

【答え】



②FC町田ゼルビアのサポーター222人が、同じ人数ずつ6台のバスに乗ります。1台に何人ずつ乗ればよいでしょうか。

【式】

【答え】



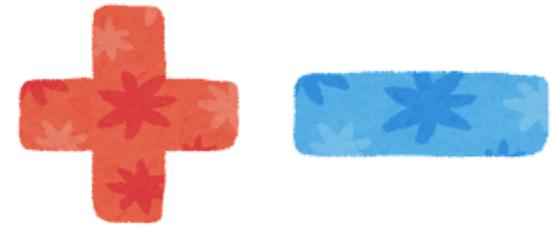
【コラム】けん算

むずかしい算数の問題、がんばってといたけど計算が合っているか不安な時ありませんか？

そんな時、役に立つのが「けん算」です！！

けん算とは、一度計算したあとで、まちがいないかどうかたしかめるために、もう一度計算することをいいます。

ひき算はたし算を使って、わり算はかけ算をつかって、けん算することができます。



この第8節にもでてくるあまりのあるわり算は、 $(\text{わる数}) \times (\text{商}) + (\text{あまり}) = (\text{わられる数})$ でけん算することができます。

けん算を身につけておくと、計算ミスが少なくなるかも？！？！



65このサッカーボールを、1人に5こずつ分けてプレゼントします。何人に分けることができるでしょうか。暗算で計算しましょう。

【式】



【答え】



個別指導塾フォルテ

×



算数

答え合わせ

4年生

第8節

わり算の筆算(1)

①35このサッカーボールを、1人に3こずつ分けてプレゼントします。何人に分けることができ、サッカーボールは何こあまるでしょうか。

【式】

同じ数ずつ分けるので、式は $35 \div 3$ です。
35より小さい33は、 $33 \div 3 = 11$ です。
よって、 11 (わる数) $\times 3$ (商) $+ 2$ (あまり)
 $= 35$ (わられる数) が成り立つことがわかります。
このようにして、 $35 \div 3 = 11$ あまり 2 と計算できます。

【答え】

11人に分けることができ、2こあまる



②FC町田ゼルビアのサポーター222人が、同じ人数ずつ6台のバスに乗ります。1台に何人ずつ乗ればよいでしょうか。

【式】

同じ人数ずつ分けるので、式は $222 \div 6$ です。
筆算では、わられる数のいちばん大きい位の数(2)が、わる数(6)より小さいので、次の位の数まで
ふくめた数(22)で計算をはじめます。

【答え】

37人



65このサッカーボールを、1人に5こずつ分けてプレゼントします。何人に分けることができるでしょうか。暗算で計算しましょう。

【式】

同じ数ずつ分けるので、式は $65 \div 5$ です。

ここで暗算のしかたを考えます。65は50と15に分けることができます。

そこで、① $50 \div 5 = 10$

② $15 \div 5 = 3$

あわせて $65 \div 5 = 13$

というふうに計算することができます。



【答え】

13人